

令和9年度北九州市公立学校教員採用候補者選考試験 第二次試験の日程及び実技試験対象者、試験内容について

1 受験者共通事項

- ※ 水分補給のための飲み物をご準備ください。(別途「令和9年度北九州市公立学校教員採用候補者選考試験(第二次試験)の受験に係る注意事項・振替試験等について」を必ずご確認ください)
- ※ 第二次試験期間中のいずれか1日もしくは2日間が受験日となります。2日間試験がある受験者は、必ず2日とも受験してください。
- ※ 個別の試験日・集合時刻は、7月28日にお知らせします。
- ※ 本市採用試験の受験を辞退(欠席)する場合は、必ずお電話でご連絡ください。

2 試験日程・会場

8/1 (土)	8/2 (日)	8/3 (月)	8/4 (火)	8/5 (水)	8/6 (木)	8/7 (金)	8/8 (土)	8/9 (日)	8/10 (月)
保健実技	模擬授業 集団討議 個人面接 美術実技	理科実技 音楽実技 英語実技	模擬授業 集団討議 個人面接	模擬授業 集団討議 個人面接 英語実技	模擬授業・集団討議・個人面接				

- ※ 保健体育実技試験は第一警備スポーツセンター戸畑、それ以外の試験は北九州市立城南中学校で実施します。

※ 個別の試験日・集合時刻は、7月28日にお知らせします。

3 実技試験対象者

- ※ 以下に該当する方は、実技試験を行いますので、必ず受験してください。

第一志望の試験区分・教科、又は併願試験区分・教科に次のいずれかを含む方 「中学校・理科」 「中学校・音楽」 「中学校・美術」 「中学校・保健体育」 「中学校・英語」	
小学校教員(小中一貫校)の志願者で、中学校の教科に次のいずれかを含む方 「理科」 「音楽」 「美術」 「保健体育」 「英語」	
複数免許状所有者特別選考での受験者で、併願試験区分・教科に次のいずれかを含む方 「特別支援学校教員(中学部)・理科」 「特別支援学校教員(中学部)・音楽」 「特別支援学校教員(中学部)・美術」 「特別支援学校教員(中学部)・保健体育」 「特別支援学校教員(中学部)・英語」	

4 試験内容

(1) 模擬授業・集団討議 【8月2日、4日～10日のうち指定する1日】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物										
全区分	・ 模擬授業 ・ 集団討議	・ 受験票 ・ 室内履き及び下足袋 ・ 切手を貼付した返信用封筒 1 通 ※ 封用の様式は最終ページを参照すること。										
模擬授業（概要）												
○ 6人程度を1グループとした、集団での模擬授業を行います。 ○ 試験会場入室後、与えられた問題を基に、<u>授業構成メモを10分間で作成</u>してください。 (問題によっては、同時に資料を配布することがあります。) なお、作成した授業構成メモは、<u>持ち帰ることができません。</u> ○ 試験区分ごとの出題教科等は次のとおりです。												
<table><tr><th>試験区分</th><th>出題教科等</th></tr><tr><td>小学校教員 (小中一貫校を含む)</td><td>国語（第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか） 算数（第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか）</td></tr><tr><td>中学校教員</td><td>特別活動「学級活動」</td></tr><tr><td>特別支援学校教員</td><td>知的障害である児童生徒に対する教育を行う 特別支援学校の各教科（国語科または算数科）</td></tr><tr><td>養護教員・栄養教員</td><td>特別活動「学級活動」</td></tr></table>			試験区分	出題教科等	小学校教員 (小中一貫校を含む)	国語（第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか） 算数（第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか）	中学校教員	特別活動「学級活動」	特別支援学校教員	知的障害である児童生徒に対する教育を行う 特別支援学校の各教科（国語科または算数科）	養護教員・栄養教員	特別活動「学級活動」
試験区分	出題教科等											
小学校教員 (小中一貫校を含む)	国語（第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか） 算数（第4学年・第5学年・第6学年のうちいずれか）											
中学校教員	特別活動「学級活動」											
特別支援学校教員	知的障害である児童生徒に対する教育を行う 特別支援学校の各教科（国語科または算数科）											
養護教員・栄養教員	特別活動「学級活動」											
○ 教師役の模擬授業は<u>一人あたり5分間実施</u>します。事前に作成した授業構成メモに基づき「<u>導入</u>」から授業を進めてください（始業のあいさつは除く）。所定の時間が経ったら試験官からやめるよう指示があります。<u>授業を5分間にまとめる必要はありません</u>のでご注意ください。 ○ 教師役は必ず、<u>黒板を用いて板書を行って</u>ください。但し、使用できる教具は、黒板、チョーク、定規に限ります。 ○ 教師役の受験者以外は、児童生徒役となります。これらを含め、30～40人程度の児童生徒がいる想定で授業を行ってください。特別支援学校教員については、3～5人の知的障害のある児童生徒がいる想定で授業を行ってください。 ○ 教師役は、<u>児童生徒役を最低1～2回は指名し、発言を求めてください</u>（※受験者以外の架空の指名については、控えてください）。児童生徒役は、<u>教師役の指名により、短く発言（返答）</u>してください。 ○ 児童生徒役の離席を伴うような指導は禁止します。 ○ 模擬授業終了後、板書事項を速やかに消してください。												
集団討議（概要）												
○ 模擬授業終了後、同じグループで集団討議を行います。 ○ 討議直前、<u>討議のテーマを記した用紙を配付</u>します。用紙は、討議中の記録用紙として使用して構いません。なお、用紙は、<u>持ち帰ることができません。</u> ○ 与えられたテーマに沿って討議を進め、<u>最終的にグループとしての結論をまとめ、発表</u>します。 ○ <u>討議時間は結論の発表を含め、5分間×人数</u>です。目安として、<u>5分ごとに合図</u>を出します。 ○ 集団討議の進め方や役割分担の決定については、全て受験生に任せます。												

(2) 個人面接【模擬授業・集団討議の終了後、同日に実施】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
全区分	・個人面接	・受験票

(3) 理科実技【実施日：8月3日】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
前掲「3 実技試験対象者」で理科に該当する方	・ 演示実験 (実験課題は、中学校理科で行う実験から当日指定)	・ 白衣 ・ 筆記用具(鉛筆、消しゴム) ※ 白衣を忘れた場合は、 受験不可 (受験者間での貸し借りは禁止)
理科実技試験(概要)		
○実技試験の時間は出入りの時間を含めて15分間です。 ○目の前に生徒がいると仮定したうえで、演示実験を行います。 その際、必要に応じて安全指導も行ってください。 ○実技試験前に、10分間別室で課題を予見し、演示実験の構成等のメモを作成することができます。 ○試験官は、試験の開始と終了の合図以外の発言はしません。 ○別室で作成したメモは、試験終了後回収します。		

(4) 英語実技【実施日：8月3日又は5日】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
前掲「3 実技試験対象者」で英語に該当する方	・ 英語口述試験	・ 「一定の英語力を有する者への優遇措置」で、実技試験の免除を受ける方は、 <u>事前に提出した資格を証明できる書類の写しの原本</u> ※ 原本の提示がない場合は上記優遇措置を受けることはできません。 ※ 第一次試験までに提示済みの方は、持参する必要はありません。

(5) 美術実技【実施日：8月2日】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
前掲「3 実技試験対象者」で美術に該当する方	(1) 工芸 (2) デザイン	・ 絵の具セット (水彩絵の具、パレット、筆、水入れ) ・ 雑巾、タオル ・ 筆記用具 (鉛筆、シャープペンシル、消しゴムなど) ※ 当日道具を忘れた場合は、 受験不可 (受験者間での貸し借りは禁止)

(6) 音楽実技 【実施日：8月3日】

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
前掲「3 実技試験対象者」で音楽に該当する方	(1) 共通 ・初見視唱（歌唱） ・ピアノによる弾き歌い（視奏） (2) 選択 ・和楽器視奏 （箏、三味線、尺八、篠笛から、1つ選択）	・和楽器（三味線、尺八、篠笛のうちいずれか。箏の場合は爪。） ・和楽器視奏用楽譜（3部。うち2部を試験官に提出。） ※ 当日楽器や道具などを忘れた場合は、 受験不可 （受験者間での貸し借りは禁止）

(7) 保健体育実技 【実施日：8月1日】

※ ロッカーは100円投入式（解錠後返金）。

※ 1階出入口を使用せず、外階段を使って2階出入口をご利用ください。

対象となる試験区分	試験内容・課題等	持参物
前掲「3 実技試験対象者」で保健体育に該当する方	(1) 共通 ・ラジオ体操第一 ・器械運動（マット運動） ・球技（バレーボール） (2) 出願時選択種目 ・柔道、剣道、ダンスのいずれか	・運動ができる服装 ゼッケン(縦 15 cm×横 20 cm)に受験番号を太く・濃く書き、運動服（胸と背）に、外れないように必ず縫い付けておいてください。 ※安全ピン留め、テープ留めは禁止 ・体育館用運動靴 ・飲み物 ※「柔道」選択者 用具一式。全日本柔道連盟の服装規定に準じたものを着用。 用具（背）に、「運動ができる服装」と同様の、受験番号を書いたゼッケンをつけること。 ※「剣道」選択者 防具一式。 面マスクまたはシールドを必ず用意すること。 ゼッケンは不要。 ※ 当日道具を忘れた場合は、 受験不可 （貸し借りなどは行わない）。

※ 当採用試験における実技試験（体育実技）受験者については、損害保険に加入のため、志願書に記載の氏名等の個人情報を保険会社に提供します。

重 要

返信用封筒の様式

封筒サイズ間違い、切手の金額不足、収入印紙の誤貼付がないように十分注意してください。

両面テープ

封筒の裏はすぐに封ができるよう
両面テープを貼り付けてください。

320 円
切手

〇〇〇〇-〇〇〇〇

〇
〇
〇
〇

〇〇県〇〇市
・
・
・
・
・
・
・

様

D 9 9 9

- 長形 3 号封筒 (縦235mm×横120mm) を使用してください。
- 図のように、あなたの郵便番号、住所、氏名、受験番号を記入してください。
- 320 円分の郵便切手を貼り付けてください。

○ 郵便切手	✗ 収入印紙
	

- 事務処理効率化のため、あなたの氏名の後には「様」とご記入ください。
- この封筒は、指定された模擬授業・集団討議試験の実施日に持参し、受付時に提出してください。